

プロジェクト名	私のふるさと自慢
タイプとレベル	「ライティングと文法」 A2、 「リスニングとスピーキング」 A2
期間	授業の後半 30～45 分を 2 回+2 週間後に提出する宿題
対象者	週 2 回 1 年間ドイツ語を学習する大学 1 年生（夏休み以降、秋頃から実施可能）
計画面 (課題、目的、学習対象、 利用可能なツール、技術的 な前提、進行プラン例)	<p>課題 : 自分の故郷について調べた簡単なデータと故郷に対する思いを根拠付けて書く。</p> <p>目的 : 1) 自分が調べて理解した内容を簡単なキーワードを使ってドイツ語でまとめる (A2 レベルの writing)。2) 具体的な事物だけでなく、抽象的な対象 (例: 自分が住んでいる市町村) が持つ特徴もドイツ語で伝えられるようになる。3) 根拠つけて語る練習をする。4) 新出語彙の発音を自分で調べ、発音できるようになる。</p> <p>利用可能なツール :</p> <p>学生: Google 検索、Google マップ、スマートフォン、読み上げ機能のある各種ソフトウェア (Google 翻訳, Acapela Box, TTSMP3.com Free Text-To-Speech and Text-to-MP3 for German, Free online Text To Speech (TTS) service with natural sounding voices, Text to Speech Reader: German male voice, German Text-to-Speech Service, TEXT TO SPEECH ONLINE TEXT TO VOICE ROBOT, TEXT2MP3)、Glosbe・Reverso Dictionary・Wadoku などのオンライン辞書各種、各種学習管理システム (FLIPGRID, Facebook, Bb9, moodle 等)、ドイツ語作文支援システム。</p> <p>http://vu.flare.hiroshima-u.ac.jp/german/writing/paragraphs/heimat.cgi。</p> <p>技術的な前提 CALL 教室等が使える望ましいが、最低限、教員用 PC が 1 台ネットに接続でき、その画面を提示できれば良い。勤務先の大学に学習管理システムがあれば望ましいが、無い場合は、SNS を限定公開モードで使う。</p> <p>プロジェクト進行プラン</p> <p>① 準備: 1) 自己紹介に関する表現を書いたり発話したりできるよう、少しずつ扱っておく。 2) 市町村 (das Dorf/ die Stadt/ die Provinzstadt/ die Großstadt/ die Hauptstadt/ der Sitz der Präfekturverwaltung) とその人口 (Einwohner) や位置関係 (bei Hiroshima/ in Hokkaido, der nördlichsten Großinsel Japans/ 50 km südlich von Kanazawa/ an der Ostküste Japans/ an der Seto-Inlandsee/ am Fuß des Bergs Fuji/ eine Satellitenstadt von～ 等)、あるいはその名産等について記述するために必要な名詞や形容詞 (für den Itsukushima-Schrein berühmt/ durch guten Reiswein bekannt 等) を扱っておく。</p> <p>① 第 1 週: 自分の故郷について調べた簡単なデータと故郷に対する自分の思いを、何故そう思うのかという理由も付けて書き、学習管理システム (LMS) の Forum ページに 2 週間以内に投稿するという課題を説明する。次に、以下の質問リストを含む「ドイツ語作文支援システム」を使って、これらの質問に、その回答例も参考にしながら答えさせる。その際必要な情報は、適宜 Google 検索等を使って調べさせる。</p> <p>1. Woher kommen Sie?/ 2. Ist Ihre Heimat ein Dorf, eine kleine Provinzstadt oder eine Großstadt? (あなたの故郷は村です</p>

か小さな地方都市ですかそれとも大都会?) / 3. Wieviele Einwohner hat Ihre Heimat ungefähr? (あなたの故郷の人口はおおよそどれくらいですか?) / 4. Wo liegt Ihre Heimat geographisch? (あなたの故郷は地理的に行ってどこにありますか?) / 5. Wovon leben die Menschen in ihrer Heimat hauptsächlich? (人々は主として何で生計を立てていますか?) / 6. Hat Ihre Heimat irgendwelche historischen Besonderheiten? (あなたの故郷には歴史的に言って何か特徴はありますか?) / 7. Hat Ihre Heimat irgendwelche kulturellen Besonderheiten? (あなたの故郷には文化的に言って何か特徴はありますか?) / 8. Hat Ihre Heimat irgendwelche Naturbesonderheiten? (あなたの故郷には何か誇れる自然がありますか?) / 9. Was würden Sie den Besuchern als Sehenswürdigkeiten empfehlen? Und warum? (訪問者に対し観光名所として薦めるとしたらどこを薦めますか? またその理由は?) / 10. Was an Ihrer Heimat gefällt Ihnen am meisten? (あなたの故郷の何が一番好きですか) / 11. Was an Ihrer Heimat gefällt Ihnen NICHT? (あなたの故郷で嫌だなと思うのはどんなところですか?) / 12. Möchten Sie nach dem Studienabschluß wieder in Ihre Heimat zurück? Warum oder warum nicht? (卒業後に再び故郷に戻りたいですか? そう思うあるいは思わない理由は?)

② 作文の際には、原則として習った表現の枠組みを使うことを推奨し、どうしてもそれ以外の表現を使う場合は、次の原則を守らせる。

- ・新出の単語を使うときは、最後の行に「新出単語」として当該単語とその日本語訳を註の形で付けること付けること
- ・新出の表現や文型を使うときは、その表現を二重引用符で囲んだ、キーワードとして Google 検索を行い、実際の使用例があるかを確認してから使う。

③ 第2週： 学生は、4人～6人のグループ作業で、宿題として書いてきた紹介文をお互いに紹介し、グループ内で直す。不安のある部分は、机間巡視している教員に尋ねる。

④ 直した作品は、LMS の Forum ページに投稿する。次の課題として、投稿された他人の紹介文を読んで、共感した作品の投稿者2人に対し、書かれている内容に対するコメントや質問を、一言で良いので自由に書き込む。自分の投稿に対して書き込まれたコメントや質問には、必ず再コメントやその質問への答を書く。

⑤ 教員は、音声読み上げソフトの使い方を実際にデモしながら、学生に使わせ、自分達の書いた作文のドイツ語模範音声を聞かせる。その際、日本語の名前や表現は、あらかじめ、同種のドイツ語表現に変えておくと全体をなめらかに読見上げてくれるなどの裏技も教えておく。

⑥ 宿題として、学生は、自分の書いたふるさと自慢の文章を、スマートフォンを使って録音する。録音した音声を別途 LMS 経由で提出させる。教員は、投稿された音声をチェックし、発音に問題がある場合は個別に指導する。

⑦ 最後に「私のふるさと自慢」と題した LMS の forum のページにテキストと音声の両方を投稿させる。

プロジェクトシート

ポイント	<ol style="list-style-type: none">1) 本プロジェクトの前に、自己紹介などをテーマとした作文/ビデオ投稿プロジェクトを実施しておくことが望ましい。2) 自分も知らない情報やあやふやな情報はきちんと調べ、そのときわかったデータを含めて書くよう指導することが重要。3) 録音の際には、メモは良いが、読み上げはだめと厳命しておく。4) 音声の録音方法や投稿の仕方などについては、あらかじめ簡単なマニュアルを作っておく方が、細かなミスによって生じかねない余分な労力を省ける。
------	---